

足立議員

## 復旧復興に必要な財政措置を

### 自民党災害対策特別委が被災地視察

自民党災害対策特別委員会（委員長・今村雅弘衆院議員）は7日、静岡県熱海市伊豆山地区の土砂災害現場を視察した。同行した足立敏之参院議員は「行方不明者の捜索が最優先」とした上で、「（復旧・復興に）必要な財政措置を行い、しっかり対策を打っていかねばならない。改めて

強靱（きょうじん）化の重要性を感じた」と話した。

現地は、土砂の流出により国道135号や熱海ビーチラインなど主要な道路が全て通行止めとなっている他、水道もストップしたままという。被災地からは、被害者支援として仮設住宅の早期供用、道路や水道の復旧・復興支援を求める声が多く聞かれたようだ

足立議員は、「行方不明者の捜索に続き、土砂やがれきの排除、土石流のメカニズムの解明が必要」とする考えを示した。また、復興に当たって中長期的な視点が必要とし、「土砂災害警戒区域で被害が出た。こうしたエリアを再生するためのまちづくりはどうかあるべきか。非常に重要な課題だ」と述べた。通行止め



現地で続く捜索活動（写真提供・足立敏之事務所）

になっっている道路について「（代替性の確保か）路があってもいいかもしれない」とした。

静岡県の沼津市と清水町を結ぶ黄瀬川大橋の被災状況も確認。周辺にショッピングセンターや工場などがあり、日頃から交通量も多く、地元から早期復旧へ強い要望があったという。